

此花西部臨港緑地エリア水辺賑わいづくり構想

安治川右岸（桜島入堀上流）

～ 都市・地域再生等利用区域の指定に向けて ～

令和3年12月24日

此花西部臨港緑地エリア水辺賑わいづくり協議会

此花西部臨港緑地エリアは、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンに隣接し、年間1400万人を超える集客エリアであるとともに、対岸の天保山エリアには、世界最大級の水族館である海遊館や大型客船の発着する岸壁があります。

また、本エリアが位置する大阪港は、大阪港港湾計画（改訂）において、魅力的な観光・集客拠点の形成と臨海部の活性化を図ることとされており、本エリアが位置する淀川水系西大阪ブロックは、淀川水系西大阪ブロック河川整備計画において、水都大阪の中心である中之島エリアと夢洲を含むベイエリアとを結ぶ主要な舟運ルートとしてさらなる舟運の活性化を図ることとされています。

さらに、本エリアにほど近い此花区の夢洲においては、大阪・関西万博の開催を控え、さらには統合型リゾート（IR）を含む国際観光拠点の形成に向けたまちづくりが進められようとしており、まさに此花区の臨海部は、大阪・関西全体の賑わいを押し上げる役割を担うことが期待されます。

大阪市におきましては、民間活力を導入し本エリアの持つこれらのポテンシャルを最大限に活かし、臨海部全体の、ひいては大阪全体の賑わい創出や、舟運及び観光等のさらなる活性化を増進していきたいと考えております。

そこで、地域の合意を図るため、準則第二十二第5項の協議会としての「此花西部臨港緑地エリア水辺賑わいづくり協議会」の設立を呼びかけ、その設立の後、同協議会の議事を経、同協議会におきまして全員合意のもと此花西部臨港緑地エリア水辺賑わいづくり構想を策定するに至りました。

令和3年12月24日

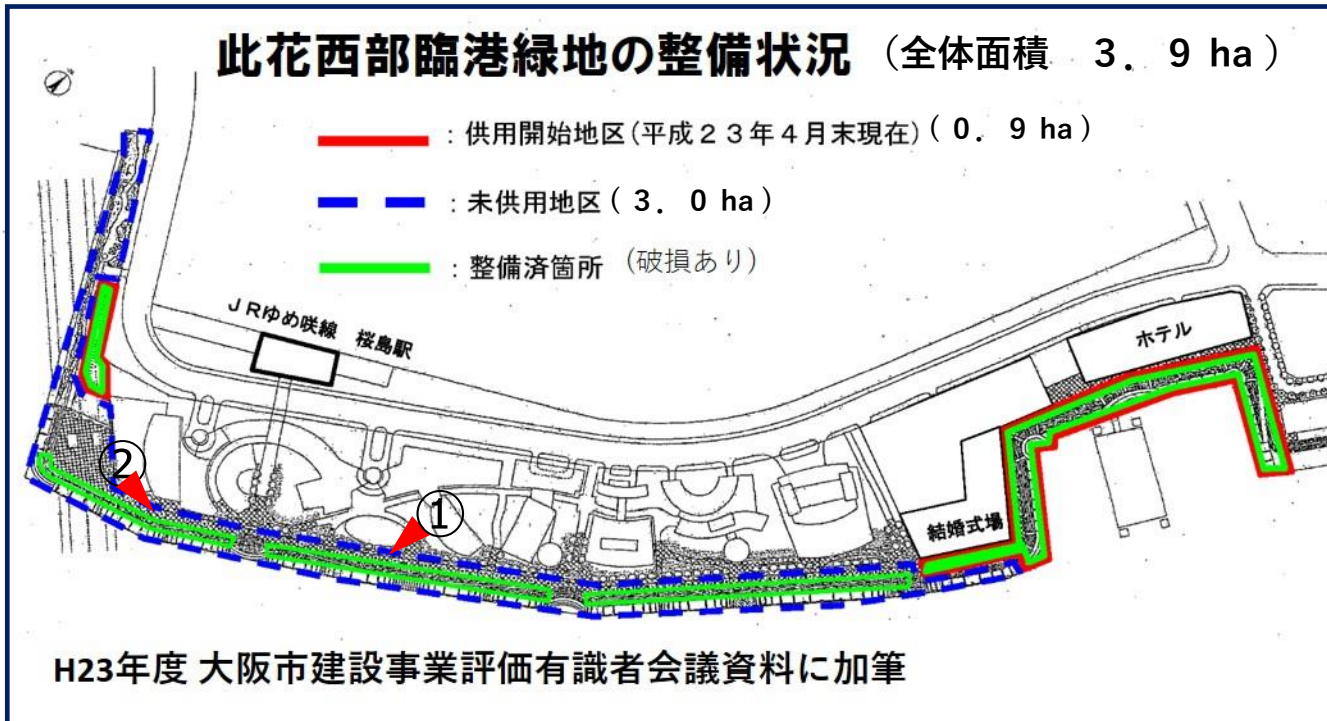
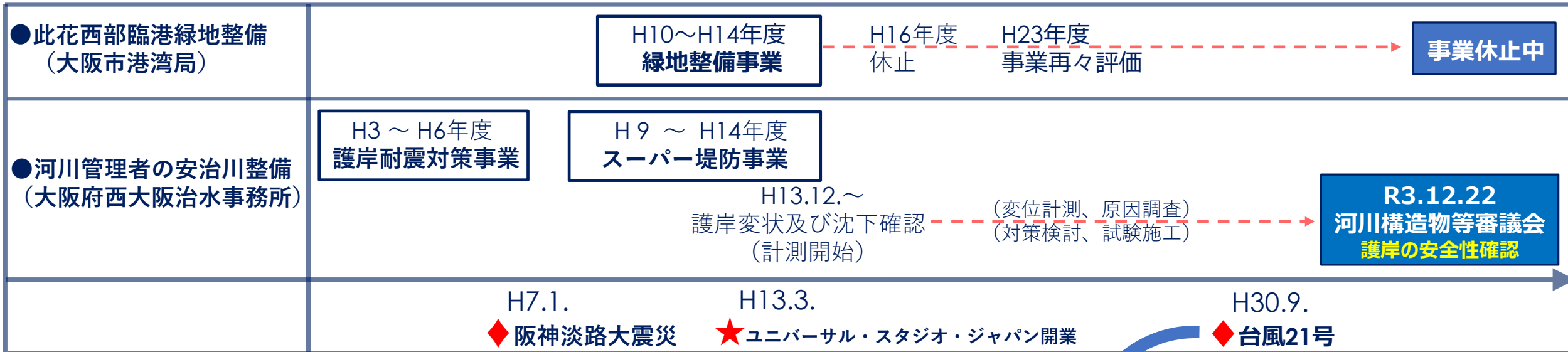
此花西部臨港緑地エリア水辺賑わいづくり協議会 運営委員長

大阪市 此花区長 高橋 英樹

目 次

- I. 此花西部臨港緑地エリアのこれまでの経緯**
- II. エリアの概要**
- III. エリアの位置づけ**
- IV. 構想の二つの柱**
- V. 事業のスキーム**
- VI. 事業の基本計画案**
- VII. 今後の事業の進め方**
- VIII. エリアの安全対策**

I. 此花西部臨港緑地エリアのこれまでの経緯



II. エリアの概要

1. 大阪都心部から近く、鉄道駅2駅からアクセス良好で希少な水辺空間が存在するが未活用

- 大阪市街地から電車で15~20分、最寄り駅から徒歩5分で水辺空間にアクセスが可能
- 臨港緑地の現状は、遊歩道施設等の破損や未整備箇所があり、大半が未供用となっており水辺へのアクセスができない。**ユニバーサル・スタジオ・ジャパン**や**シティウォーク**との相乗効果が発揮されず、また、大阪都心や大阪湾を眺望できる好立地特性も活かされていない状況



〔水辺空間の現状〕



Ⅱ. エリアの概要

〔臨港緑地未供用部の現状〕

